

## グローバル(GLOCAL)な視点で見直そう、 土木分野における NPO・NGO 活動を！

開催日時：平成 26 年 9 月 10 日(水) 16:15~18:15

場 所：大阪大学（教室等詳細未定）

参加無料

座 長：有岡 正樹（NPO 法人社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会理事長）

話題提供者:いずれも仮題

- ・ 山本 卓朗 NPO 法人シビル NPO 連携プラットフォーム代表理事  
「土木分野における中間支援組織発足と今後の展開」
- ・ 多々納 裕一 京都大学防災研究所教授、土木計画学研究委員会幹事長  
「NPO と土木計画学」
- ・ 山内 直人 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授  
「社会インフラ整備における NPO の役割」
- ・ 皆川 勝 東京都市大学教授（シビル NPO 連携プラットフォーム地域連携担当理事）  
「小さな連携事例の積み重ね（1）－地域インフラ長寿命化での役割」
- ・ 松田 曜子 関西学院大学災害復興制度研究所研究員・准教授  
「小さな連携事例の積み重ね（2）－被災者支援と防災の現場より」

主 題：土木学会教育企画・人材育成委員会では、5 年余の調査・研究活動を経て、土木学会 100 周年記念事業の一環としてこの 4 月に NPO 支援組織「シビル NPO 連携プラットフォーム」を設立した。この機会にシビル NPO 法人およびその支援組織が果たす役割と今後の課題について、グローバル（総論的）かつローカル（各論的）の両面に視点をあてて教育企画・人材育成／土木計画学研究両委員会の共催で議論を展開する。外部からは NPO 活動研究の第一人者である山内直人日本 NPO 学会元会長に、国際比較を含め総論的な視点での、また、松田曜子先生および皆川勝先生にはそれぞれ今後の中長期的な課題である「巨大災害対応」と「インフラ長寿化」という二つの論点で、‘地域連携の積み重ね’をキーワードに各論的な話題提供をいただき、山本卓朗元土木学会会長および多々納裕一土木計画学研究委員会幹事長を含む 5 名が会場をも巻き込んで意見交換を行い、今後の具体的な活動の動機付けとしたい。

定 員：60~100 名

時間配分：(全 120 分の想定)

- ・ 話題提供：@7 分×2=14 分、@18~19×3=56 分 計 70 分
- ・ 意見交換：45 分
- ・ 前後の挨拶：5 分

主 催 者：教育企画・人材育成委員会および土木計画学研究委員会の共催

実施組織：建設系 NPO 中間支援組織設立準備会（教育企画・人材育成委員会の小委員会）

実施責任者：駒田智久(設立準備会委員長)